

第2 評価項目

1. 社会経済情勢の変化

(1) 社会経済情勢の変化

ア 地域社会・地域経済の動向

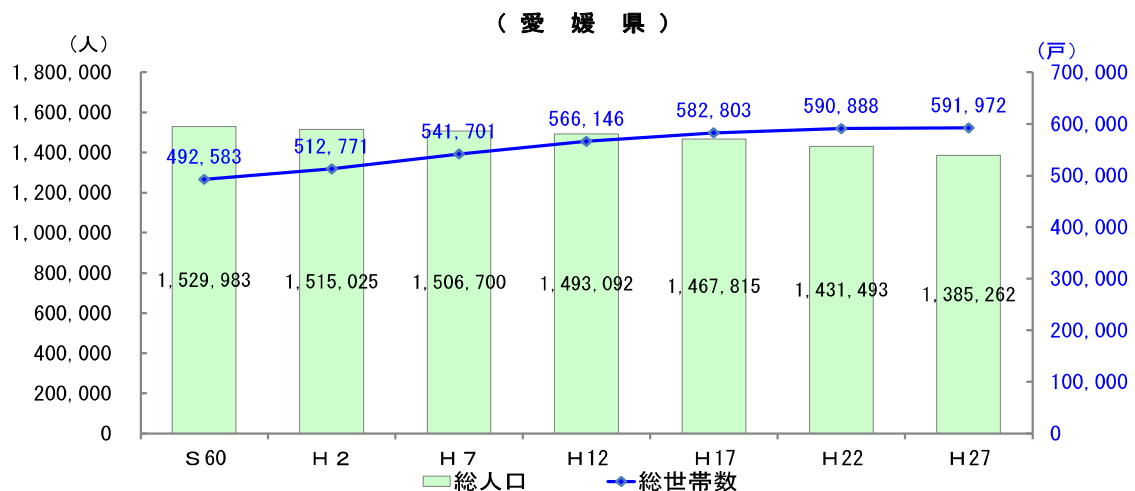
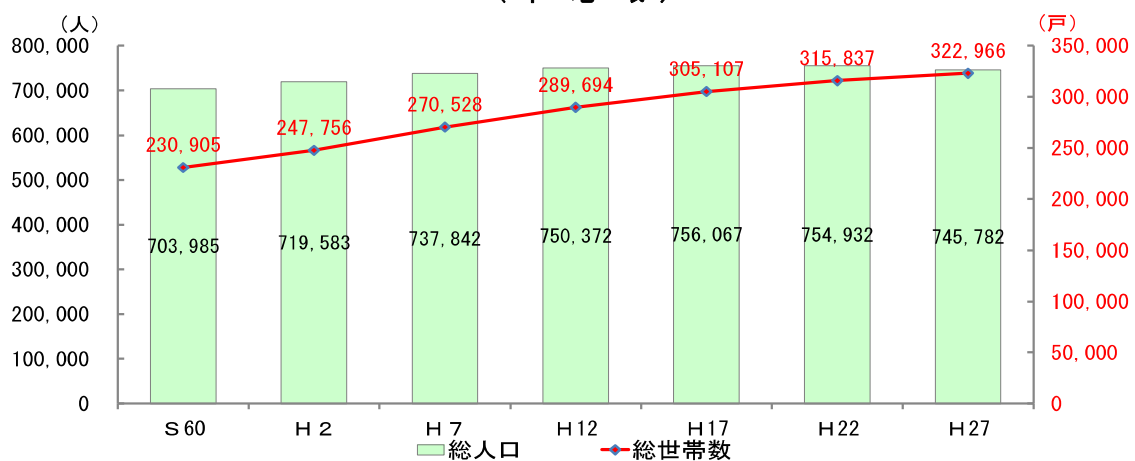
①人口・世帯数の動向

愛媛県では人口が減少しているが、本地域では人口、世帯数とも増加傾向である。

本地域の人口は、昭和60年以降増加傾向にあり、昭和60年と平成27年を比較すると、703,985人から745,782人と6%増加している。また、世帯数は、同期間において、230,905戸から322,966戸と40%増加している。

愛媛県の人口は、昭和60年以降減少傾向にあり、同期間に1,529,983人から1,385,262人と10%減少している。世帯数は、同期間において増加傾向となっており、492,583戸から591,972戸と20%増加している。

図2-1 人口及び世帯数
(本地域)



出典：「国勢調査」総務省統計局

② 産業別就業者数の動向

本地域において、第1次産業の就業人口は30年間で57%減少している。また、本地域における平成27年の第一次産業の占める割合は5%と愛媛県の8%に対し3ポイント低い。

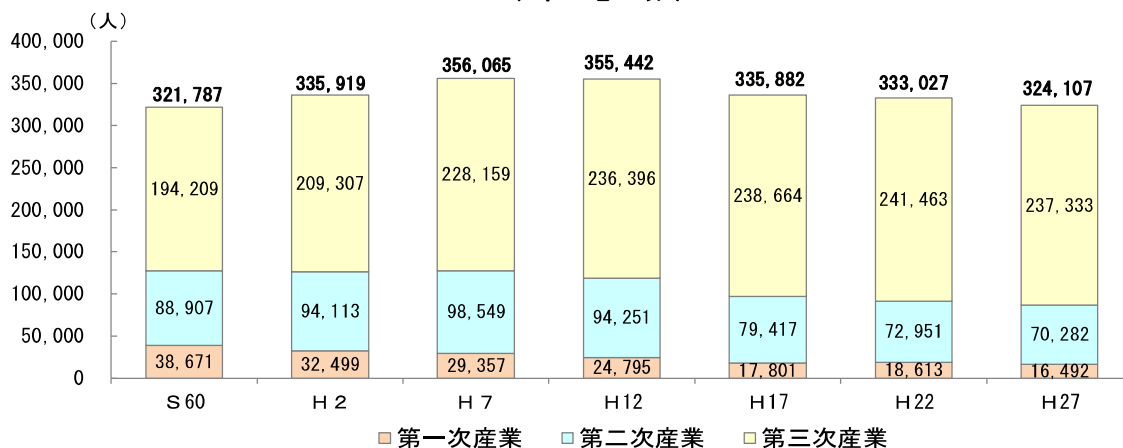
本地域の産業別就業者数は、平成7年をピークに減少傾向にあり、昭和60年の321,787人から平成27年には324,107人と1%増加している。産業別には、同期間に第一次産業が38,671人から16,492人と57%減少、第二次産業が88,907人から70,282人と21%減少するなか、第三次産業は194,209人から237,333人と22%増加している。

愛媛県の就業者数は、同期間に718,972人から597,356人と17%減少している。

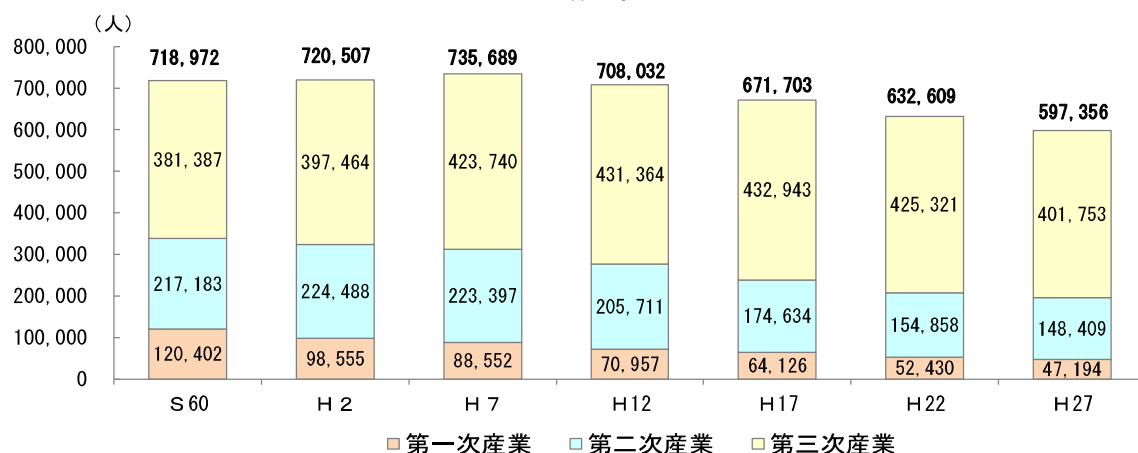
また、構成比をみると、第一次産業の割合が減少し、第三次産業の割合が増加している。平成27年には、本地域の第一次産業は5%となっており、愛媛県の8%に対し3ポイント低い。

図2-2 産業別就業者数

(本 地 域)

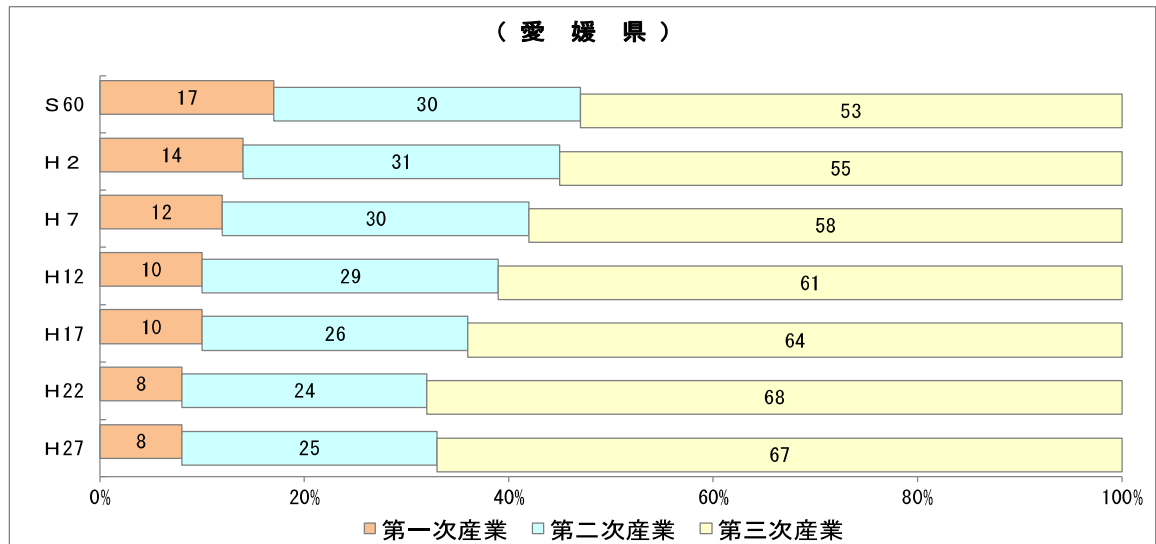
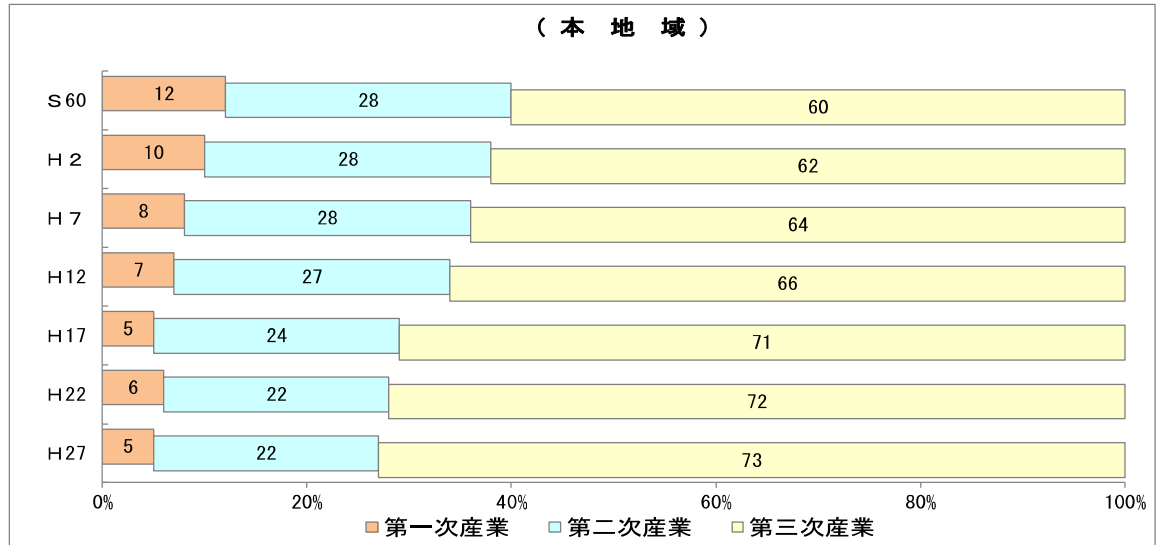


(愛 媛 県)



出典：「国勢調査」総務省統計局

図2-3 産業別就業者数の構成比



出典：「国勢調査」総務省統計局

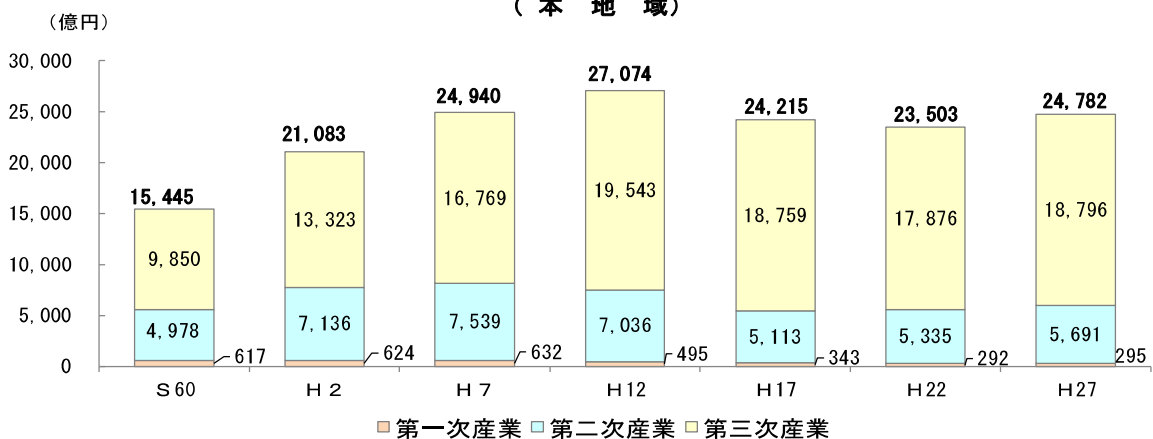
③ 産業別生産額の動向

本地域において、第一次産業の生産額は30年間で52%減少している。また、本地域における平成27年の第一次産業の占める割合は1%となっており、愛媛県の2%に対し1ポイント低い。

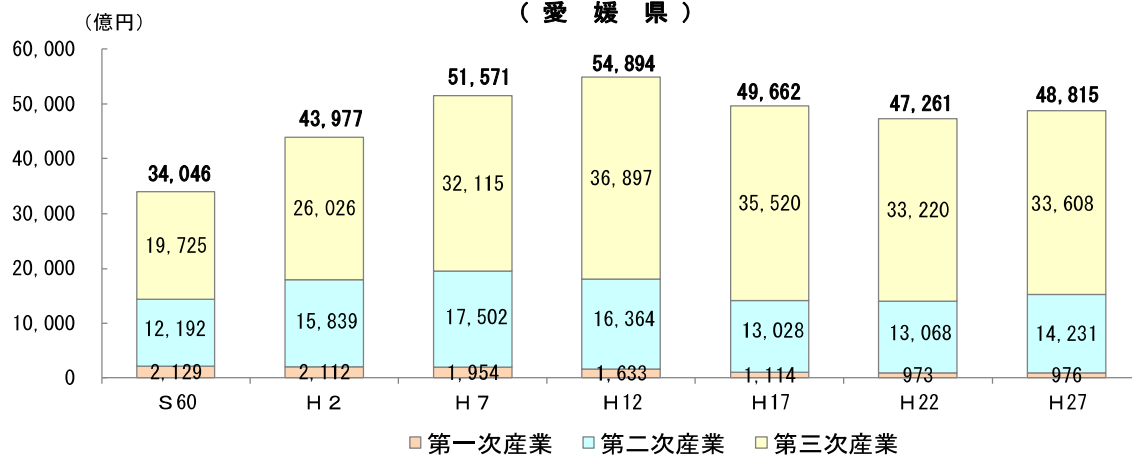
本地域の生産額は、平成12年をピークに減少傾向にあるが、昭和60年の15,445億円から平成27年には24,782億円へと60%増加している。産業別には、同期間に第一次産業が617億円から295億円と52%減少したのに対し、第二次産業は4,978億円から5,691億円と14%、第三次産業が9,850億円から18,796億円と91%増加している。

愛媛県の生産額は、同期間に34,046億円から48,815億円と43%増加している。

図2-4 産業別生産額
(本地域)



(愛媛県)



出典：愛媛県市町村民所得統計、愛媛県県民経済計算